

一般質問通告書

2025年6月3日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 11番 福井 節子

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・質問番号1の用紙にだけご記入ください。
- ・質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初問は { ①. 全項目一括質問一括答弁
2. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号 1) 発言事項	住み慣れた地域で、安心して住み続けられる交通システムを
要 旨 (項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)	
<p>今議会の補正予算に、公共交通対策事業費として142万6千円の調査費用を政策予算として計上されました。</p> <p>市は、合併後20年間、JR湖西線を中心に6地域の交通体系を維持し、かつ民間バス、タクシー等、連絡協議会を軸に総合的に体系を模索しながら進めてこられました。市民のニーズに応えるため予約制度を取り入れたり、利便性の向上と持続可能な交通体系をと進めて来られました。しかし、市政モニターアンケートでも満足度は低く、なかなか市民の要求やニーズに応えるものになっていないというのが実態です。</p> <p>その上、国や県が地域交通の原資となる補助金の補給を狭めるなど、高島市が現交通体系を維持するには、市自身が必要な財源を確保しなければ持続出来ない状況に追い込まれています。</p> <p>こうした中、市の公共交通以外で民間団体や事業者等による送迎や、福祉事業者による輸送など、現況調査を依頼する予算を計上と聞きます。そこで以下、問います。</p> <p>① 本補正予算（案）が、今城市政の今後の地域交通政策にどうつなげていかれるお考えか、伺います。</p> <p>② 民間団体の交通事業も、市として一体のものとした交通政策構想を方向付けしていかうとされているのか伺います。</p>	

- ③ 市と民間が力を合わせ、市民生活の利便向上を第一にした持続可能な地域交通体系の確立が求められていると思うが、どうか。
- ④ 市民生活を支える利便性の高い交通と、観光資源も多く存在する高島でJRなどと連携する交通の必要性もあります。どのように棲み分けをして、活かしていこうとされているのか伺います。
- ⑤ JRのトイレのことは、令和6年12月議会で取り上げました。交通の利便向上には欠かせないものと感じています。再度、改修の手立てを求めたいがどうか。